



# サロンあべの

出会い  
ふれあい  
助け合い

KSKQ

VOL.200



## 200号



### 〈サロン・あべの1月の出会い〉

平成15年1月18日(土)、〈サロン・あべの〉1月の出会いは、育徳コミュニケーションセンターの研修室で「ハリー・ポッターと賢者の石」のDVD鑑賞会でした。世界各国で読まれ、ベストセラーになっっている本を映画化したものです。大人も子どもも楽しめる魔法の世界の物語です。

#### ・ストーリー

その昔、魔法の世界では最強の闇の魔法使い(例の「あの人」)が、多くの魔法使いや魔女を殺していた。なぜか赤ん坊のハリー・ポッターには邪悪な呪いが効かず、生き残った男の子として魔法の世界では有名であった。ハリーはみなし児になり、魔法をまったく信じない普通の人間の家で育てられて11歳になった時、1通



の手紙が届く。だがその手紙を家族はハリーに渡してくれなかった。その手紙はホグワーツ魔法学校からの手紙で来る日も来る日も届くのである。ある日、ハグリッドと言う大男が家を訪れてハリーを迎えに来た。以前からの手紙の内容は、魔法学校への入学許可の通知だった。ハリーはハグリッドと共に家を飛び出して行く。

二人は準備のため魔法世界へ向かい、魔法の世界の銀行でハリーの両親が残したお金を引き出す。ハグリッドも「ある大事な物」を金庫から出していった。次にダイアゴン横丁で杖など必要な道具を買った。そこでハリーは、ハグリッドから1羽の白いフクロウをプレゼントされた。ハリーは荷物を抱かえ、手紙に書かれたホグワーツ特急に乗るためホームへと向かった。駅には9番線と10番線はあるが、9と4分の3番線の

ホームが見当たらない。よく見るとホームの柱に向かってカートを押して走って行く子どもの姿を見つけた。どうやらそこがホームへの入口らしい。ハリーも思いきつて飛び込んで行った。するとそこには9と

4分の3番線のホームがあり、汽車が待っていた。汽車の中では同じ新入生の赤毛のロンという男の子とハーマイオニーという女の子に出会って仲良くなる。

汽車が到着し、いよいよホグワーツ魔法学校の入学の歓迎会。その前に新入生のクラス分けが行われた。イスに一人ずつ座り、組分け帽子をかぶる。この帽子が素質を観て、組を決めていく。組は、勇気ある者のグリフィン、忍耐強く忠実なハッフルパブ、古き賢き者のレイブンクロー、有才で狡猾なスリザリンの4つがあった。組分け

帽子が順番に新入生の組を決めて行く。ハリーがイスに座り組分け帽子が悩んだ末、決めた組はグリフィン組であった。ロンもハーマイオニーも同じ組になった。

学校での授業が始まり、いろんな先生に魔法を教わっていく。また、ホウキに乗って得点を競う魔法の世界のスポーツ「クイディッチ」というクラス対抗試合があった。グリフィン組とスリザリンとの試合にハリーも出場した。しかし途中で何か不明の魔法力でホウキを上手く操れなくなった。応援席の仲間の助けで救われグリフィン組

が勝利した。



DVDのジャケットから

「賢者の石」の創造に成功した錬金術師であることが判った。つまりこれがハグリッドが金庫から持ち出した「ある大事な物」であった。

ハリーは「例の人」と呼ばれる邪悪な魔法使いヴォルデモートが復活のために「賢者の石」を狙っていることに気付いた。「賢者の石」を守るため、魔法のチエスなどの困難をハリーはロンやハーマイオニーと協力して乗り越えていく。その奥に待ち受ける者とは……。ハリーは運命の対決に挑んでいく。

おせんにキャラメル、

大ちゃんパンはいかがですか・・・

と、中入りに、「大ちゃんパン」が登場。

校内でのトルロという怪物の出現など不審なことが次々と起こる。ハリーたちがハグリッドに相談しに行く、口をすべらしてニコラス・フラメルという名前を口にした。ハリーたちは昔の書物から、その人物の名前を見つける。万物を金に変えたり、永遠の命を与える

郷土野菜として復活してきた田辺大根をPRしようとこれをモデルにした「大ちゃんパン」が考案されました。白い大根をイメージした部分に、アンやクリーム、それに大根菜の刻みが入った惣菜など3種類があり、それぞれの味を楽しみました。「ハリー・ポッター」と「大ちゃんパン」でお腹も魔法にかかった(サロン・あべの)1月の出会いです。

参加者15名(山村貴司)

## 誰でも参加できる場所へ

### 第9回

グリーンボランティアさくら草  
(大阪府吹田市)

林 典生

ンボランティアとして位置づけられて、肥料代等の活動費を捻出するようになった。現在では会員が30名ほどで活動しており、活動費の補助以外に会費を集めて運営を行っている。

活動の理念としては多くの花を咲かせ、緑をいっぱいにし、集会場を訪れる方々に心安らげる空間を提供できるように活動し、

そしてさらには植物を通じて、自然のすばらしさや大切さを地域のみなさんと考えていくことである。

草花だけではなく、果樹を育てたりする穂の長い餅米や赤米等の稲を作り、そのわ

らでしめなわやぞうりを作ったりする園芸作業を中心に行っている。それ以外に近くにある山での植物観察、花壇の柵やプランターなど廃品を生かした木工作業、広報活動を行っている。なお、木工作業はリサイクルに関する賞で、大阪府知事からいただいたとお話をしていた。

さらに西山田集会場で行っている子育て支援グループ等の他のサークルや勉強会とお祭りや一緒に植物を見て話をしたり、作業をしたりする日常的な交流を行っている。

1994年に集会場運営委員会でグリー

前回から日本におけるコミュニティガーデンを紹介しましたが、今回は私がコミュニティガーデンはこれであるべきだという姿を示してください。大阪府吹田市の西山田集会場におけるグリーンボランティアさくら草についてご紹介いたします。

最初は1993年に西山田幼稚園が廃園になって、西山田集会場として変わるときに最初は現在の会長とその家族の方二人で集会場の庭を使って廃園時に残された草花と持ち寄りの苗を世話することがはじまりである。

また、集会場の近くの道にソバなどの植物を植えてみたり、集会場のそばにある小学校や中学校との種苗の交換を行ったり、高齢者の方が作業しやすいようにした作業台等を小学生や中学生からもらったり、一緒に作業を手伝うなどといった活動が行われている。

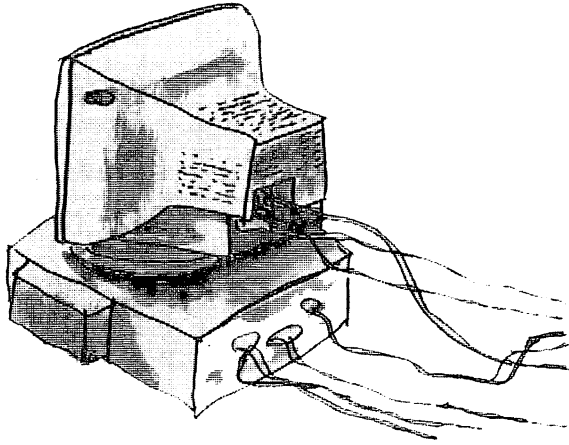
今後はその活動を広げて、地域のお年寄りのデイケアや小学生や中学生との共同活動へと結びつけたり、他の同様の活動とのネットワークの形成を行いたいとの話があった。

その当時の問題としては土が植物の生育に向かない性質を持っている以外に若い方が活動に参加しなかったり、集会場の近くの道に植えている植物が根こそぎ盗まれたりすることがあった。さらに、吹田市が西山田集会場をデイケアセンターに変わる方針があり、それが実現されると地域住民が閉め出され、コミュニティガーデン活動が終わってしまう可能性がある。次回は大阪府池田市の渋谷ハーブの会の活動をご紹介いたします。

## □ サロン紙のホームページ

二百号発行、おめでとうございます。私もサロン発足以来、サロン紙でお世話になっていますので、二百号発行を機会に何かさせてもらおうと思い、作ってみたのが「サロン・あべの」紙のホームページでした。

〈サロン・あべの〉のホームページではありません。「サロン・あべの」紙のホームページです。つまり、いまのサロンの様子を



書いたり、これからの予定を提示したりするのではなく、過去に発行された「サロン・あべの」紙をそのまま掲載した「書庫」のようなホームページです。

今回は、この「サロン・あべの」紙のホームページの閲覧の仕方について、ほとんどインターネットについてご存じないかたも読者のなかにはいるという前提で説明したいと思います。

まず、ホームページは、コンピュータがないと見ることができません。電話機のなかにはホームページを見ることができるといふ「謳(うた)い文句」がついているものがあります。それでは「サロン・あべの」紙のホームページは表紙を読むことができても、中身を見ることができません。それは後に述べるようにアクロバット・リーダーというソフトが必要だからです。また同様の理由で携帯電話でも見ることができません。またコンピュータが家にあっても、当然のことですが、インターネットが利用でき

る状態でなければ、ホームページも読むことはできません。

インターネットがとりあえず使える状態の人はアクロバット・リーダーという無料で配布されているソフトを自分のパソコンに入れてください。このソフトは多くのコンピュータ雑誌の付録などについています。もし手元にソフトがない場合は、インターネットを通じて無料で手に入れることができます。その方法は「サロン・あべの」紙のホームページに載せてありますのでご覧下さい。

ここまでできたら、いよいよ次のアドレスにアクセスしてください。

<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>

このt-okaの左についている記号(ティルデまたはティルドといいます)を全角文字で入力したり、ハイフン記号と間違ったりして、なかなか入力できないことがあります。その場合は<http://www.t-oka.net/>をまず開いてもらって、開いたページにある「社会活動」のボタンをクリックして、また、そ

こで開いたページの「サロン・あべの」のポランをクリックしてもらえたら「サロン・あべの」紙のページを開くことができます。

そのページが開いたら、二百号までのすべての「サロン・あべの」紙が読める状態になります（印刷もできません）。ただし私にはまだ時間的余裕が充分なくて、準備できているのは一九九号までのうち四分の一ほどです。毎日少しずつやって増やしていくつもりです。

アドレスは一般公開されていますので、誰でもいつでもどこでも（インターネットのあるところなら地球上どこでも）過去に発行された全てのサロン紙を読んで印刷することができます。どうぞご利用ください。（知）

ありがとうございます。

カンパ・大ちゃんパンの寄贈・サロングッズのお買い求めなど、ありがとうございます。（敬称略・順不同）

稲垣恵雄、笠原美和子、中嶋良子、平岡太、松本妙子、その他の方々。

「鬼は外、福は内・・・」  
学校帰りの子供たちが、こう言いながら  
我が家の前を通り過ぎた。

そう言えば今日（2月3日）は節分である。節分とは文字が示すように季節を分けることだから1年に4回あるわけだが、いつの頃からか、立春の前日のみを指すようになった。

節分とよく似た行事に追儺（ついな）というのがある。これは節分の前後に悪魔を追い払い、福を呼ぶ神事のことである。昔は毎年除夜、主に宮中の儀式として行われていたが、今は各地の寺院や神社で盛んに行われるようになった。この追儺のことを「ならやらひ」とも「鬼やらひ」とも言う。

最初にも書いたように節分と言えば、豆

まきと結びつく。私も幼い頃、節分の日に居間で「鬼は外、福は内」と言いながらたくさん

の豆をまいた。別に居間の障子をねらっ

ていたわけではないのだが、豆をまくたびに障子にあたって破れるのである。その破れた障子の穴から私は顔を出して「あかんべえ」をするものだから、横で見ていた母がそれこそ鬼のようなこわい顔をして「これっ、やめなさい！」と何度も叱られたことを思い出す。

ところで鬼と言えば、きらわれ者の代名

詞のようにになっているが、ある地方の正月行事に登場する鬼はたいまつを持って踊ったり、走り回ったりして見物人を大いに喜ばすそうである。こんな鬼なら「福は内、鬼も内」と言いたくなる。

## 晴れのち晴れ 53

節分

稲垣恵雄



桃栗3年、  
柿8年、  
サロン・あべのは  
2000号

・・・ということ、みなさまから寄せられたいろいろなお話に添えて、サロン紙にまつわるあんな事、こんな話も、ごいっしょに。

僕、「大ちゃんパン」と  
申します。

セルフ社 田中三枝子

我が町、北田辺で「まぼろしの田辺大根」が復活してうれしく思っていました。いつ、僕の出番が来るのかと首を長くして今か今かと待っていました。

そんな気持ちを通じたのか僕の故郷である北田辺の商店街の中で「ヒロトン文具」そして「セルフ社」の看板をあげて頑張っている福祉作業所の仲間から声がかかってきたのです。

ただの懐かしい大根が復活したというだけでは何だか物足りないね。君、パンになってみてはどうだろう？

な、なんと、大根の僕がパン・ン・に？？まぼろしの大根と言われていたこの僕をもう一度陽の当たる所に引っ張り出してくださった皆さんへの恩返しが出来、そう

思った僕はもちろんとびきりのパンになってやるぞと心に決めたのです。

さあ、それからが僕の仲間となったヒロトンやセルフの仲間と、手伝ってくれることになったパン作りを仕事としている幾つかの作業所の仲間たちとの試行錯誤が始まったのです。

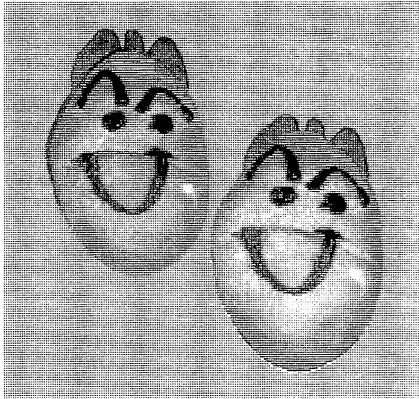
まずは、愛くるしい僕の顔！これを何とかパンの形に取り入れることが出来ないものかと日夜考える日が続きました。そして、ついに僕は大変身！第1号が出来あがったのです。

しかし、世間はそうは甘くなかった！皆さんの前にデビューするまでに、これまた二転三転、元気だけが取り柄の僕も少しだけ不安になりました。そんな気持ちで入った一軒のパン屋さん。新しくオープンしたばかりのお店で気になっていたのです。そこの話から僕の話はあつという間に進んでしまったのです。僕の進むべき道はちゃんと決まっていたかのよう・・・。それから、あれよあれよという間に僕は皆さんの前にお目見えとなったのです。

それからの僕の事はもしかしたら皆さんの方がご存じかも知れませんが、僕は本当に幸せものです。皆さんの力で再びこの大阪で生まれ直すことが出来、おまけにパンという考えもしない形で皆さんに愛されることになるとは・・・。

現在僕の中身は、あんとかクリーム、惣菜。そしてもう一つ、それは秘密！ がありますが、皆さんによいアイデアがございましたらぜひご連絡ください。僕の兄弟をふやせたらなあー。

これからの僕の役目は、地域の皆さんと僕の仲間たちがつともつと仲良くなれる



大ちゃんパン

ように頑張ることだと思っています。僕の方なんて小さなものですが、それでも何か出来ると思っています。

僕の夢、それはみんなの夢。みんなに住める大きな家を建てること・・・

そう、大ちゃんドリーム！

こんな僕ともども頑張る僕の仲間たちのこと、これからもどうぞよろしくお願いします。

失敗は成功のもと

サロン・にしよど

中本勝也

昨年5月に始まった「サロン・にしよど」は、「ほぼ」毎回20人を越す人たちが集い、当初の予想以上に順調にやって来られました。

サロンの

絵はがき

5枚1組 ¥180

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力をお願いします。



### ●200号 あんな事、こんな話——感謝

「サロン・あべの」紙が本号で200号を迎えました。前にも書きましたようにサロン紙の第1号はB5版の紙1枚に手書きの粗末なものでした。サロンに来てくださった方とのつながりがほしくて、前回のサロンの出会いをお知らせするだけの内容でしたが、間もなく、内容豊かな紙面へと変貌しました。そして、それから休みなく毎月エッセーの原稿を送っていただいているのが「(知)さん」です。サロン発足当時を知る人はよくご存知の方ですが、お顔なじみがない方もエッセーファンとしてサロン紙を愛読してくださっている方が多いです。この(知)さん、現在は関東にお住まいですが、外国へ行かれることも多く、サロン紙の原稿も海外から送付していただいたこともありました。また、クリスマスカードや海外からのお便りの訳文などを掲載することもあります。この欧米の人たちをサロンに紹介してくださったのが(知)さんです。事務局に英語力がないもので言葉足らずの交流で申し訳ないと思っていますが、皆さん忘れずにお便りを送ってくださり本当にありがたいことです。サロン活動は多くの方々の励ましと支えがあればこそ、今日まで続けてこられたと考えています。その礎を作り、守っていただいているのが(知)さんだと思っています。その(知)さんがこの記念の号に「サロン・あべの」紙のホームページ開設という華を添えてくださいました。サロン活動はこの3月で丸17年を迎えます。この過ぎてきた歳月と人々が織りなすサロンの出会いは、「感謝」の言葉以外にありません。(け)

しかし、「ほぼ」とあるように、少ない時もありました。それが、6月の2回目の時でした。その月は10人で、第3号のサロン誌にもあるように、「どうなることかとハラハラのスタート」。テーマは「私の知っている西淀川」と題し、西淀川の歴史についてのビデオ鑑賞の後、各々の知っている西淀川の話を出し合いました。結果はと言うと、最初の心

配はどこへやら、あつという間に2時間が過ぎ去ってしまいました。後から振り返ってみると、人数が少なかつたことが逆に発言しやすい雰囲気を作り出すんだなと思えました。それから、サロンに集まるみんなが交流できるために、試行錯誤の連続なのですが…。「サロン・にしよど」は「老若男女を問わず、あらゆる違いを越え、すべての人たちが

出会い、語り、学び合う空間」作りを目指し、これからも心の交流を楽しんでいきたいと思えます。今年も毎月第4土曜日の午後1時30分～3時30分に行います。時々、外にも出かけ、気分転換も図っていきます。(ちなみに、3月は2度目の外出を予定しています)。出来てからまだまだ日の浅いサロンですが、毎月いろんなことに挑戦していきますので、ぜひ1度立ち寄ってください。



# 植物あれこれ

49

山口康二郎

## 室内の緑化

園芸専門学校で講師をしているお陰で、その道の専門家の話を聞けるのが大変楽しい。

その中のひとつ、ビルディングの中になきな木を植えたいと、考えておられる人の話を伺った。これに対して学者は、「それは無理な話だ。人間の生活環境と植物の生活環境はまったくあべこべなのだから」といわれる。いわれてみるとなるほどと思うことが多い。森林浴のために林にはいると、気持ちは確かにいいが、湿度は高く、かびが生える環境である。これは植物の蒸散量が水

面からの蒸散量よりはるかに多いからである。人間の住む住居内はもつと乾いた条件が要求される。この湿度だけでも正反対の環境である。

木造建築ではまだしも鉄筋コンクリート建築が殆どの建物の中では不可能ではないか。特に日本の冬は1年中で最も乾燥する季節であり、加えて暖房器具の使用で室内は更に乾燥し、多湿な気候に慣れた日本人は喉や鼻をやられやすい。

植物にとつては正に地獄といつてもよい。光は極端に不足し、光合成は半分以下になり、空調の風で気孔は閉じ、植物の生理作用は狂ってしまったている。ときどき與えらる水でかろうじて枯死を免れている状態といえる。

観葉植物のレンタルでは冬に最も木が傷むといわれている。「貸し鉢」で持ち込まれる植物は、定期的に温室や栽培場でリフレッシュして生気を取り戻しているのだが、冬には極端に衰弱し、捨てざるを得ないものが多いようである。

そんな悪条件下でも何とか室内緑化をしたいという夢を持っておられるのである。

氏は目下、悪条件に耐える樹木の開発中と意欲満々に話されていた。ぜひ成功していただきたいと願っている。

せめて私たちは、植物にとつて大敵の冬を乗り切るために、風避けや、日光がよくあたるような配慮をすることを忘れないようにし、もうすぐそこにある春を待ちたいものである。



# 美智子のこんな話

岸田美智子

戦後最大の抗議行動になりました

前回このコーナーで、厚生労働省から、障害者施策において「脱施設化」が打ち出されたと報告しましたが、それに逆行するようなホームヘルプサービスの利用時間に、1日4時間以内(月120時間以内で、これは身体介護、家事、ガイドヘルパーを含む)という案が突如打ち出されました。

これまで厚生労働省は、各市町村にはホームヘルプサービスに対して上限は設定しないようにと、指導してきました。それが突然180度転換したように、障害者の命を縮めかねない、このような考え方に対して全国の障害当事者はもちろん、関係団体は猛反発しました。その抗議行動は連日連夜厚生労働省前で行われ、2週間にも及び

ました。その数は多い日で1200人以上と報告されました。テレビ、新聞などマスコミも連日大きく取り上げていましたし、私たち全国

の仲間たちも電話やファクス、メールなどを使って、抗議の声を厚生労働省、坂口大臣、首相官邸などへ届けました。私も日帰りでしたが、厚生労働省まで行って来ました。

こんなに多くの、障害種別を超え、親などの関係団体との共同行動が出来たことは本当に素晴らしいことだと思います。

これに対し、厚生労働省の態度はといえ、厳戒態勢を敷き、ガードマンで周りを固め、立入禁止にし、車いすトイレも使わせ

ず、地下鉄からの専用出入口もシャッターを閉ざし、冷たいものでした。このような厚生労働省の態度には人権尊重など微塵も感じられませんでしたが、マスコミや各政党

の議員たちは、私たち障害者団体の主張を応援してくれました。(次頁1月27日付朝日新聞)

この問題と並行して、厚生労働省は自立

生活センターへの補助金事業を打ち切り、その予算を地方交付税に組み込む旨、一方的に通達してきました。地方交付税に組み込まれてしまうと、今までのように自立生活センターへ配分されるかどうかからなくなります。これでは各地の自立生活センターの運営を危うくしてしまいます

ホームヘルパーの上限問題はどうか撤回させることが出来ました。そして、障害当事者を入れた検討の場を厚生労働省に置くことの確約も取れました。しかし、市町村障害者生活支援事業への助成の打ち切り問題は今後も予断を許さない状況です。

このような厚生労働省の、障害者への自立生活運動潰しの政策は、断じて許せない問題です。これからもその動きに注目していきたいものです。

○問い合わせ先

自立生活センター

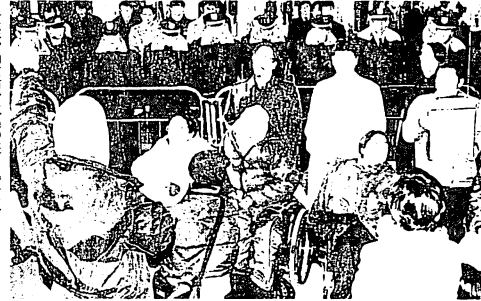
MY・DO(まいど) (岸田)

大阪市住吉区長居西1-9-12

TEL 06-6609-3133

FAX 06-6609-3210

# ホームヘルプ利用時間に 上限 厚労省方針 障害者支援の低下 懸念



一月に始まる障害者支援費制度変更のため、厚生労働省は障害者団体の対応が急務となっている。国庫補助金の配分にあたって、ホームヘルプサービスの利用時間に一律の基準を設ける方針を固め、実施地域で「地域で生活」を望む障害者を優先し、厳しい制度の理念は果たされるのか、対立の論点を整理した。

## 「地域で生活」揺らぐ根幹

食事や入浴の介助を要する障害者は、在宅支援の中心となるホームヘルプサービス。障害者団体は厚労省の「地域で生活」について、実質的に利用時間の「上限」とない「上限」をめぐって、激しい反発を示している。今年度中、ホームヘルプサービスの利用時間、月額18時間を上限とする方針が打ち出された。これは、これまでの月額24時間から削減されることになる。また、月額18時間を上限とする方針が打ち出された。これは、これまでの月額24時間から削減されることになる。また、月額18時間を上限とする方針が打ち出された。これは、これまでの月額24時間から削減されることになる。

## 「補助金公平配分」と説明

厚生労働省の「地域で生活」方針が、市町村の障害者サービスに与える影響が懸念されている。市町村は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。



全国自立生活センター協議会代表 中西 正司さん  
我が国の目標は、全国の障害者が地域で暮らすことにある。しかし、現在の状況は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。

## 全国一律の配分は誤り

障害者が地域で暮らすためには、国庫補助金の配分が公平に行われることが不可欠である。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。



厚生労働省保健福祉部長 上田 茂さん  
支援費制度は障害者一人ひとりの契約に基づいて、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。

## 現状維持へ措置講じる

国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。

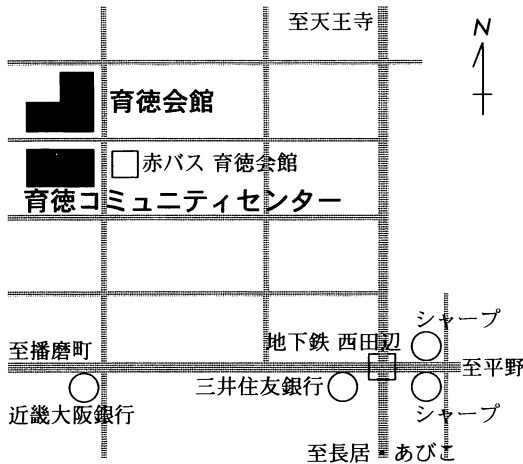
- ◆在宅で暮らす障害児・者数
  - ・身体障害者約333万人、知的障害者約33万人
- ◆身体障害者ホームヘルプサービス
  - ・全国で約4万8千人（うち脳性マヒなど全身性障害者約1万人）が利用
  - ・利用時間1週2回までが約70%、月平均8～16時間
- ◆全身性障害者に対するサービス
  - ・全身性介護人派遣事業を実施（194市町村）
  - ・1カ月あたりの上限＝18時間～上限なし
- ◆03年度ホームヘルプ予算案
  - ・約280億円（対前年比138億、実質15%増）
- ◆新障害者プランの目標
  - ・07年度までにホームヘルプサービス6万人を確保

国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。しかし、国庫補助金の配分は、国庫補助金の配分が公平に行われることを求めている。

## お知らせ

### <サロン・あべの>3月の出会い

内容…あの日からの車いす  
 ～定藤丈弘を支え続けた思い～  
 お客さま…定藤邦子さん  
 日時…3月15日(土)午後1時～4時  
 場所…育徳コミュニティセンター2階  
 研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
 TEL 06-6621-1901  
 最寄り駅＝  
 地下鉄御堂筋線「西田辺」  
 赤バス「育徳会館」下車すぐ  
 会費…なし  
 問い合わせ先…  
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



### 遊びながら障害を考える 「かるた」が出来ました

しどろもどろ作業所10周年記念に、障害者の声や周辺から感じてきた言葉をイラストレーターの吉田たろうさんが、ほんわかとしたイラストの「かるた」に完成させました。かるた遊びの中から誤解や偏見をとき、理解と共感が育まればうれしいです。

#### ★かるた 1セット

ケース入り・・・定価1100円  
 本体のみ・・・定価1000円  
 送料1セット・・・350円  
 (2セット以上の送料はお問い合わせください)

#### 申込先

しどろもどろ作業所  
 〒536-0008  
 大阪市城東区関目2-6-3  
 TEL/FAX 06-6935-8386  
 メール sidoro@linkwebor.jp

ドイツから  
 メリークリスマス

親愛なる慶子様

クリスマス・ニューイ  
 ヤーカードをありがと  
 うございました。  
 あなたにも、新しい年  
 がいい年でありますよ  
 うにお祈りします。

私も、今のところ大丈  
 夫です。  
 ただ、経済危機にある  
 ドイツにとつて200  
 3年は大変な年になり  
 そうです。  
 お体大切に。

ブリギツテ  
 (訳:林正弘)



SALOON

関西ニュース

### ■「サロン淀川」3月の出会い

日時：3月16日（日）午後1時30分～4時  
場所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3  
内容：川柳から生まれる楽しさを学びませんか  
～思わず噴き出しそうになる川柳を創り  
ませんか～  
パネラー：島村美津子氏  
クレオ北、花ばさみの家（御影）などで  
川柳指導  
会費：なし  
問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー  
ロー） ☎ 06-6394-2900  
E-mail : sorajii@iris.eonet.ne.jp

### ■「サロン・ひらの」3月の出会い

日時：3月22日（土）午後1時30分～4時  
場所：昭和浪漫倶楽部  
大阪市平野区長吉長原1丁目  
内容：カラオケ大会  
～みんなで楽しく騒ぎましょう～  
会費：2000円（軽食・飲み物代含む）  
申し込み締め切り：2月末  
問い合わせ先：高橋 ☎ 090-4497-0635  
☎ 06-6795-2200

### ■「サロン・にし」3月の出会い

日時：3月8日（土）午後1時30分～4時  
場所：西区ボランティア・ビューロー室

大阪市西区新町4-5-14 6階（西区役所  
隣）地下鉄＝西長堀駅4-A号出口から  
すぐ 市バス＝地下鉄西長堀駅から徒歩

内容：みんなで楽しく絵を描こう！  
紙、マジック、絵の具などは用意してい  
ますが、使いやすい用具があればご持参  
ください。  
終了後、ミニ展覧会を開催します。

会費：なし  
問い合わせ先：関口 ☎ 090-4281-5641

### ■「サロン・にしよど」3月の出会い

日時：3月22日（土）  
集合時間、集合場所など、詳細は中本まで  
お問い合わせください。  
内容：日本民家集落博物館（服部緑地公園内）  
会費：なし  
但し、交通費・昼食代・入場料などは自  
己負担。障害者手帳をお持ちの方はご持  
参ください。  
問い合わせ先：中本 ☎ 090-4497-0635

### ■「ウイズ東淀川」3月の出会い

日時：3月9日（日）午後1時30分～4時  
場所：東淀川区民会館4階会議室  
東淀川区東淡路1丁目4-53  
☎ 06-6379-0700  
内容：夏の東欧1カ月半滞在記  
ゲスト：中西邦夫氏（似顔絵師）  
会費：なし  
問い合わせ先：鈴木昭二

☎ 06-6340-3082  
FAX 06-6340-3012

■「サロンいたみ」3月はお休みです。

## 声で読書のお手伝い

## 音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で<サロン・あべの>紙第199号の音訳テープが出来ました。

## ■音訳テープ文庫

- (a) <サロン・あべの>紙は、第1号より第199号までそろっています。
- (b) <サロン・あべの>十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「<サロン・あべの>平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧ロー二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ほけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをします。富田 (☎06・6691・1028) まで。

## 寄りみち



編集改革からおよそ1年、パソコン編集に全面移行しました。これまでは、原稿をお寄せいただく方、各々のワープロなりパソコンで打ち出された原稿などをそのまま使っていましたので、活字が不揃いでしたが、パソコンの編集に変わり活字の統一もできました。原稿を送っていただくのも、速達、宅配便、超緊急の時は自宅へ直配というのもありましたが、メールでの入稿が可能になりました。(石)

<サロン・あべの>VOL. 200 発行：平成15(2003)年2月15日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>